

二〇二四年四月一日（参加者一四名）

天辺の木蓮合掌解き初む	わかば
マカロンの箱に並べし染卵	なつき
ブナ林の小径を綴る射干の花	ぼんこ
縁うららあんばん母と半分こ	あひる
真青なる空を染めんと大ミモザ	康子
鶯に口笛吹をもて応えけり	かかし
お彼岸の夫に日本酒供へけり	こすもす
犬呼べば春泥蹴つて大ジャンプ	えいいち
落としたる洗濯ばさみクロッカス	よう子
球春やラジオが友と鍼灸師	せいじ
切株の年輪へ射す春日かな	康子
本堂の花頭窓射す若葉影	むべ
山茱萸の黄をけぶらせる小糠雨	むべ

雑詠句会みのる選・二〇二四年六月一日